

ふっかちゃん子ども福祉基金 ふっかちゃん児童自立支援事業

ふっかちゃん子ども福祉基金ってなに？

ふっかちゃん子ども福祉基金は、平成 24 年に深谷市が設立し、安心して子育てができる環境づくりを推進し、次代を担う子ども達の健やかな成長に資する事業に活用されています。基金の財源は、公民館や市内の事業所などに 166 か所設置している募金箱と、個人・企業からの寄付金です。平成 28 年 10 月末日までの寄付金額は、総額 1 億 1785 万 138 円です。

その基金を活用し、ふっかちゃん児童自立支援事業がはじまることとなりました。内容としては、深谷市内の児童養護施設や里親等にあずけられた児童が、施設等から旅立ち、就職や大学等に進学する時に、円滑に自立した生活が開始できるよう、支援金 5 万円が支給されるというものです。

これから社会へ歩み出す子ども達にとっては大変心強い支えとなることと思います。多くの人に支えられ、それぞれの一步を踏み出して欲しいと願います。

ふっかちゃん子ども福祉基金を活用した新たな事業がはじまりますのでご紹介いたします！



幼児旅行



10月3日、渋川スカイランドパークへ行ってきました。幼児さん5人、大人4人で観覧車やコーヒーカップ、北極の世界が体験できる部屋など沢山楽しめました。お化け屋敷は、みんな怖がってしまい入ってみたいけど怖い気持ちもある様子で葛藤していましたが、誰も入れませんでした。ジェットコースターは身長制限をクリアしたRちゃんのみ挑戦していました。朝から雲行きが悪く、後半小雨が降りましたが室内で遊べる場所で最後まで楽しんで過ごせました。今でもこの日の思い出を笑顔で話してくれる姿があるので楽しい思い出として残り、良かったと思います。



軽井沢
おもちゃ王国
招待

今年もおもちゃ王国さんのご厚意で、多数の子どもたちをご招待いただきました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちは元気に楽しく1日を過ごすことが出来ました。行った先では、観覧車・ゴーカート・空中自転車・魚釣り・迷路など体験し、日々の生活の中で、なかなか味わうことのない体験ができたと思います。昼食もバイキング形式で、子どもたちは思い思いに食べたいものを取り、おなかも心も満たされた中、再び乗り物を楽しむために、遊園地内に散っていきました。引率した職員・子ども共に楽しむことのできた日になりました。





職員派遣研修

今年度も埼玉県児童福祉協議会主催の職員派遣研修が行われました。今年は、さんあいから青山さん、神愛ホームから須藤さんがいらっしやり、はなこみちからは岡崎さんと坂本さんがそれぞれ交換研修に行きました。今回はそれぞれの職員さんに、施設間のちがいや、今回の研修での学びや感想についてお聞きしました。

神愛ホーム
須藤さん



今回の研修は、自分自身の成長につながったと感じました。子ども達の関わり方に関しても、子ども達への促しにおいても、職員さんから学ぶことが多くありました。自身は、6名の子どもを4年間みていることもあり、どこか自分自身の支援に満足していた部分もありました。支援は日々学びであることを改めて感じる事が出来ました。ありがとうございました。

さんあい
青山さん



さんあいでは小舎制で1つのユニットに6人子どもがいます。今回研修させていただいたもろこしさんは14人いて、その違いが一番印象的です。人数が多いため、子ども達は自然と下の子のお世話をされていて、中舎制のよさだなと感じました。また園庭には遊具やテラスもあり、子どもがのびのび遊べる環境が整っていると思いました。職員の子どもの関わりも温かみがあり勉強になりました。

坂本さん



11月9日～11日の3日間の間、毛呂町にある神愛ホームさんへ派遣研修に行かせていただきました。派遣研修とは埼玉県内にある児童養護施設間で職員の相互派遣をして、自施設の見直しや様々な考え方・感じ方・多様性などを学ぼうとするものです。配属先は6人の男子ユニットでした。私のはなこみちで所属しているユニットのちょうど半分の人数であり、生活の流れやユニットの約束事などとても新鮮に感じました。配属先のユニットでは現在スポーツや運動に力をいれており、学校から帰ってくると幼稚園の子から高校生の子らが園庭で職員とサッカーをしてあそんだりしてとても良い雰囲気、私も研修の初日から一緒に遊んで仲良くなりました。この研修で自施設の良いところだったり、取り入れてみたいところなどたくさんの良い学びがあった3日間でした。

今回、派遣研修先で子どもの人数の違いや調理方法・係り活動・各会議や施設内研修に参加させて頂き多くの事を学ばせて頂きました。その中でユニット調理を実施しており子ども達の様子を見ながら作業する姿や子ども達も手伝って一緒に作る姿があり子ども達との関わりを大事にしているように感じました。

派遣研修を行い他施設を見れたことでそれぞれの良さや工夫している部分を学ぶことが出来たと共に参考出来る部分は取り入れていけたらと思いました。今後役に立つ良い経験が出来た研修になったと思います。

岡崎さん



防災訓練

2011, 3/11, 14:46:18, 1秒。死者・行方不明者計 1万8500人、被災者10万人。津波最大遡上高40, 1m (大船渡市) マグニチュード9 埼玉県宮代町でも震度6 震度1以上の余震(2016, 3/9まで) 12, 080回。これは、東北地方太平洋沖地震、別名東日本大震災です。NASA (米航空宇宙局) の計算では東日本大震災で1日の長さは180万分の1秒短くなり、地軸は17センチメートル動いたといひます。



もう、忘れませんか？まだ、覚えていますか？昔の人の言葉を紹介しましょう。「災害は忘れたころにやってくる」そして「油断」また「転ばぬ先の杖」なんて、多くの先人は私たちに戒めを残しています。私たちは、先人の教訓、そして今も何時起こるかわからない災害に対し、毎年 9月1日 (総合防災訓練の日) 12月第1日曜日 (地域防災の日) 7月1日～10日 (津波避難訓練の日) として、火災・地震災害訓練を全国で行なっています。防災訓練には積極的に参加しましょう。「自分の身は自分で守る」この言葉を忘れずに！



なお、今年のはなこみちの総合防災訓練は12月17日(土) 13:30～実施します！

ユニットから



ぶちとまと(男子小規模)

主任 小久保 良

あっという間に2016年が終わろうとしています。4月から考えると色々な事がありました。新学年になり勉強が難しくなって中々宿題に取り組めない子、高校生になり帰りの時間が遅くなってしまふ子、毎日ケンカを繰り返す兄弟、夏休み最後に深夜までかかり宿題を終わらせる子などなど。日常的な事から、思春期だなどと思う事まで色々ありました。

毎日子ども達と関わっていると中々気が付きませんが、大変なことばかりではなくすごいな、えらいなと感心する事もたくさんありました。高校2年生の子が将来の事をしっかり考えていたり、時間を守れない子が守れるようになったり、職員が体調崩したときに「大丈夫？休んでれば。」と優しい言葉をかけてくれる子などなど。4月から考えるとたった数カ月ですごく成長したなどと改めて感じます。

もう数週間で2017年。あっという間に月日は流れてしましますが、その中でも子ども達は成長していきます。もしかしたら子ども達は勝手に成長していくのかもしれませんが。その中で少しでも子ども達の成長のお手伝いが出来ればいいなと感じます。

かぶら(女子小規模)

指導員 村上 洋美

2学期が始まると、すぐに運動会の練習や体育祭の練習、中・高校生は文化祭など忙しい日々を送っていました。幼稚園・小学校の運動会は心配していた雨も降ることなく、当日は今までの練習の成果を発揮でき、頑張っている姿が伺えました。日々の生活の中とはまた違う子ども達の顔をそこで見る事が出来ました。皆で食べた弁当も美味しかったですよね。

中高生は中間テストと続き多忙な日々で、高校の受験生もお体調が心配になりますが、かぶらでは熱発で学校を休む児童はほとんどなく、このまま体調管理を維持していってほしいと思っています。



そらまめ(男子ユニット)

指導員 鈴木 義隆

2学期は小学生は運動会、中学生は体育祭、音楽祭があり忙しくも充実した日々を送っています。

小学校の運動会では、子ども達の外での一面を見ることが出来ました。応援に来てくれたご家族の前でも以上に張り切っている子がいたり、どの子も一生懸命頑張っており、全員に1番をあげてほしいなと思いました。小学生の子ども達は11月に行ったおもちゃ王国ではたくさん遊び、好きなおもちゃも買えたようでとても楽しめたようです。帰園後に楽しかった話をたくさんしてくれ、良い思い出になったのではないかと思います。また高校生のS君は北海道に修学旅行に行った際に、自分のユニット以外にもお土産を買ってきてくれ、S君の心遣いにさすが高校生だなど頼もしさを感じました。

普段の生活では元氣過ぎるくらい賑やかな『そらまめ』ですが、体調を崩し学校を休む子どもが多いので、寒い冬も風邪等ひかず元氣に乗り切ってもらいたいです。また、中学3年生の2人は受験の時期が迫っていますので、最後の追い込みに頑張ってもらいたいと思います。

もろこし(女子ユニット)

指導員 眞田 博子

ある日のもろこしユニット。各々朝食をとったり登校準備をしたりしている中、幼児Sちゃん「Kちゃんあん。」 中学生Kさん(洗面所から)「はあい。」 幼児Aちゃん「Yちゃん、どこ行くのお？」 中学生Yさん(通学カバンを背負いながら)「うふふ、秘密の場所。」 幼児Rちゃん、Sちゃん、Aちゃん「行ってらっしゃあい。」 Yさん、Kさん「行ってきまあす」

また、試験前の夜は中学生が学校や友達の話しながらも共に勉強する姿も見られます。これらの光景は私自身微笑ましくなる時の1つです。

幼児から高校生12人という集団生活、更に時折一時保護の子どもも入ることがある中、子ども同士で言い合い等にもなることもあります。おはよう、ありがとう、おやすみ。」の挨拶や優しさ、笑顔等も更に見られるようになり、各々のペースで成長しているのを感じます。さて、今日はどんな微笑みになるのでしょうか。ワクワクする私です。

行事予定(12月・1月・2月)

12月	1月	2月
5日 立正大学実習(~17日)	4日 訓示・辞令交付式	3日 文化の日
13日 社会体験チャレンジ(中学)	7日 消火防災訓練	4日 消火防災訓練
14日 職員会議	9日 十文字学園女子大学実習(~21日)	6日 文京学院大学実習(~18日)
15日 はなこみち支援会	11日 職員会議	15日 はなこみち支援会
17日 総合防災訓練	15日 はなこみち支援会	職員会議
20日 要対協	17日 要対協	21日 要対協
23日 クリスマス会 法人役員会		22日 東洋大学実習(~3月6日)
26日 人事 内示		
28日 お餅つき大会		



報恩感謝 善意の寄付

セカントハーベストジャパン 様
 全国シャンメリー共同組合 様
 楽天株式会社CSR部 様
 日本ケロッグ合同会社 様
 元型物語寄贈プロジェクト事務局 様
 株式会社 チュチュアンナ 様
 ジャパンゲートウェイ 様
 ギャップジャパン株式会社 様
 葵はなこみち支援会 様
 アスカ深谷店 様
 マルハン深谷店 様
 株式会社 プレナス 様
 公益財団法人 深谷市地域振興財団
 日本鏡餅組合 様
 ヤマトグローバルロジスティックジャパン有志 様
 埼玉県内ヤクルト販売会社 様
 楽天株式会社 様



あたたかいご支援ありがとうございます。

災害時避難場所を提供!

緊急時は避難所として開放します

- ① 防災倉庫
- ② 備蓄食糧 (1,000食)
- ③ テント (2張)・寝袋 (10人分)
- ④ 地域交流センター解放
(スポーツ少年団・地域ボランティア団体等)
- ⑤ AED・チェーンソー等の機材
- ⑥ 非常用トイレキット(500回分)



はなこみちでは毎月定期的に消火防災訓練を実施し、万一来臨しています。

あんしん市民相談支援センター

あんしん市民相談支援センターは、社会福祉法人の社会貢献事業として、施設独自の活動です。相談者は、CSW(コミュニティー・ソーシャル・ワーカー)と称し、社会貢献活動支援員として、子育て、老人福祉、相続などの種々の困りごと相談に対応します。相談員は、各種相談ごとに精通した行政経験者である行政書士が問題解決の糸口を無料でアドバイスします。(相談は、事前に電話連絡をお願いします。 574-3146)

あなたも活動してみませんか ボランティアサークル 花小路 会員募集

児童養護施設はなこみちを支援するボランティアグループです。現在会員を募集しています。

- 活動内容** ①遊びボランティア ②学習支援ボランティア ③短期里親ボランティア
 ④お掃除お洗濯ボランティア ほか



～編集後記～

今年も残すところあと半月になりました。この一年、皆様にとってどのような年でしたか。はなこみちの子ども達も少しずつ成長し、元気に新しい年を迎えられそうです。さて、年が明けるといよいよ受験シーズン。はなこみちにも今年高校を受験する5人の子ども達があります。それぞれ自分が目指す高校へ進学してくれることを心から祈っています。寒さに負けずみんなガンバです。